

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 城東地区まちづくり協議会

1 交付決定額	I	金 550,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 防災備品整備及び防災訓練実施事業				
実施主体	城東地区まちづくり協議会、地区防災部会			
実施日(期間)	令和4年5月16日 ~ 令和5年3月31日			
実施場所	地区内			
事業概要	災害応急対策の的確かつ円滑な実施のため、車道に面した場所へ既存防災倉庫が移設されたため、更に1基を追加購入し、体制整備の充実を図りました。			
地域づくりの成果・効果	10月23日のふれあい防災まつりにあわせて避難所設営・運営に必要な防災物品の点検・搬出入を実施することができました。なお、11月6日に開催を予定していた指定避難所における設営運営訓練はコロナ禍で見送りとなりました。			
課題	避難所設営運営の訓練は継続性が必然と考える中で、必要物品の保管場所を充実させました。関係役員と熟議を重ね、必要物品の充実に取り組んでいく必要があります。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	517,000円	197,000円	0円	320,000円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 城東地区ふれあいまつり開催事業	
実施主体	城東地区まちづくり協議会、ふれあいまつり実行委員会
実施日(期間)	令和 4年10月23日
実施場所	城東地区福祉ひろば・元町児童館
事業概要	会場である福祉ひろばと児童館・元町児童遊園を利用して、 ① 三世代交流によるふれあいと絆づくり ② 地区全体で取り組み町会の垣根を超えた関係づくり ③ 災害に強いまちづくりとしての取り組み を目的に交流の場としてのイベントを開催しました。昨今の、大雨災害や地震が多発していることから、防災について見つめ直すきっかけにもなるため、城東地区「ふれあい防災まつり」として開催しました。防災に着目しての取り組みは、昨年到现在に続いて2回目です。当日受付数:339名(含む小学生以下78名)
地域づくりの成果・効果	三世代交流による地区住民の親睦と地区意識及び防災意識の高揚が図られ、地域力のアップを図るきっかけとなりました。 コロナ禍での集団行動の取り組みは避難時の感染症対策への経験に、また、今回新たに取り組んだゴミの分別収集は、日常生活や非難所での集団生活を見据えたも

	<p>のとして参加者への意識付けとなり、運営側にも良い経験となりました。</p> <p>開催の直前まで関係者が知恵を出し合っの工夫・検討は、それ自体が今後の地域づくりに役立つものと期待できます。</p>			
課 題	<p>創意工夫により、コロナ禍でも休止することなく毎年開催しています。今後も、交流による親睦と地域力アップにつながる開催について創意・工夫・熟議により継続していくことが必要です。</p>			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	200,000円	200,000円	0円	0円

③ 事業名： 地域包括ケアシステムの構築事業、介護予防事業、あいさつ運動事業				
実 施 主 体	城東地区まちづくり協議会、地区町会連合会			
実施日(期間)	令和4年5月16日 ~ 令和5年3月31日			
実 施 場 所	地区内			
事 業 概 要	<p>① 医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つのサービスを包括的に提供できる体制の構築(地域包括ケアシステムの構築)の一環として、4月から新規配置となった地区生活支援員の活動内容説明会を実施しました。また、地区アンケートの結果から生活支援体制の構築に向けて検討を進めました。</p> <p>② 地区アンケートの要望のひとつであった、各種団体で発信発行している情報(誌)の一元化について、昨年度購入の物品を使用して6月号より毎月の発行に取り組みました。</p> <p>③ 障害者スポーツの一つであるボッチャ大会を開催し、老若男女問わずすべての人が体を動かし、楽しみながら介護予防に繋げる取り組みをしました。</p> <p>④ 毎月第4月曜日を「あいさつ・声掛け運動の日」として顔見知りを増やし、災害時での絆づくりや「安全・安心のまちづくり」を行いました。</p> <p>また、旭町小学校・中学校において、各学期の始業の日、終業式の日の朝校門前において声かけを行いました。延べ8回、人数27名</p>			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	<p>住民アンケートに基づく課題の見える化と必要な事業の取り組みは、住民主体のまちづくりに向けた取り組みを図ることのきっかけづくりになっています。</p> <p>また、「あいさつ・声掛け運動」により、地区内の顔見知りを一層増やし、不審者対策など安全・安心のまちづくりに繋がることを確認しました。</p>			
課 題	<p>関係団体とつながった協議会の運営とともに、誰でも参加できる学びや集う場の取り組みは住民相互のつながりを図ることのきっかけとなり、継続した取り組みが必要です。</p>			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	80,334円	13,656円	66,668円	10円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決 算 額 ( 計 ) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	797,334円	410,656円	66,668円	320,010円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:防災備品資金積立事業					
積立目的	突然の災害に対しても対応できる体制を整えるため、防災訓練等から災害時に必要とする防災備品の充実を図るもの。 無線機 14台 事業費 600,000円				
積立期間	2年度から 4年度まで (本年度 3年目)				
積立ての目標金額	480,000円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計	
	前年度までの積立経過	1年目	160,000円	160,000円	0円
		2年目	160,000円	160,000円	0円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D 100,000円	E 320,000円	F 100,000円	
合計額	420,000円				
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体	まちづくり協議会				
実施日(期間)	令和4年5月16日 ~ 令和5年3月31日				
実施場所	元町児童遊園				
事業概要	防災倉庫の購入				
地域づくりの成果・効果	災害応急対策の的確かつ円滑な実施のため、体制整備の充実を図りました。				
決算額	E+G	財源内訳			
	517,000	E 320,000	G 197,000		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続(7年度まで)・廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E : 充当した積立金の額  
G : その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金 39,344円
-------	-----------

[参考]繰越上限額 = I × 2 / 10